

講義名	日本語総合B（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	小野 勝	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本授業は、大学生活や日常生活において必要とされる日本語の基礎的かつ総合的な読解力をつけるとともに、それらを自分自身の言葉で言い表せるようになることを目標とする。
授業は、読解を基本とするものではあるが、ただ「読む」のではなく、その内容を「表す」ことにも焦点をあてて進めていく。具体的には、まず日本語で書かれた一般的な説明文や指示文、解説文を読むことでその内容を理解、要約することを中心に行う。また、同時に広告文やパンフレット、絵などの情報素材の中から必要な情報を読み取り、その内容について考える作業も行う。

到達目標

大学の授業や日常生活のあらゆる場面において必要とされる日本語の読解力をつけ、その内容が理解できるようになる。
文章のみならず、様々な表示内容から情報を読み取り、その内容を理解して自身の行動に結びつけられるようになる。

提出課題

毎回、授業のテーマに即したワークシートを配布するので、指示に従ってそれを完成させる。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削して返却する。参加者の多くに間違いが見られた問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業中の課題達成度（20%）、小テスト等（20%）、中間の理解度確認（30%）、期末の理解度確認（30%）
授業を5回以上欠席した学生については、成績評価の対象から外す。

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業で出席をとる。
授業中の私語及びスマホ等の不必要な使用は慎むこと。
日常的に予習、復習を心がけ、日本語に触れる環境を意識して作ること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料等は必要に応じて配布する。文献は適宜指示する。

授業計画

- 第1回 授業の進め方及び注意事項、スケジュール、評価方法を説明する。
- 第2回 表やグラフが表す意味を考え、ポイントを文にして表す。
- 第3回 説明文などから必要な内容を読み取り、その内容に含致した表やグラフを作成する。
- 第4回 広告やお知らせから情報を読み取り、ポイントをまとめる。
- 第5回 提示された絵や理論の意図を読み取り、その内容を文にして表す。
- 第6回 二つの表示内容を比較し、その共通点や相違点をまとめる。
- 第7回 登場人物の心情を読み取り、それを述べる。
- 第8回 中間の理解度確認
- 第9回 1枚の絵に示された情報を活かし、5〜1Hを明確にして短文作成を行う。
- 第10回 提示された情報から結論を書き出すとともに、その理由を述べる。
- 第11回 ある状況を説明する文を読んで内容を理解し、その後の展開を予測する。
- 第12回 会話文に示された内容から、その話者の心情や次の行動を予測する。
- 第13回 設定された状況を読み取り、その状況で「自分ならどうするか」を考える。
- 第14回 ある提示内容から情報を読み取り、それに含致したストーリーを考える。
- 第15回 期末の理解度確認

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

当週に学習した項目について、理解に時間を要した部分を中心に復習し、次週の小テストに向けて準備をすること。（120分程度）
学習内容の定着を図るため、文作成練習などを行うこと。（120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

物事に自ら進んで取り組むことができるようになる。
自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができるようになる。
課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考